

～これまでとこれから～ ワーカーズ・コレクティブと法制化

ワーカーズ・コレクティブ（協同労働）という働き方が社会化され、ワーカーズ・コレクティブの存在を強め、可能性を拡げるために1991年より法制化への運動を続けてきました。11月3日、WNJ代表の藤井恵里さんと運営委員の井上浩子さんを講師に学習会を開催し、会員92名が参加しました。



北海道では会員の入れ替わりもあり、法制化の話聞くことが初めてという方が多いのが現状です。法制化の歴史（1995～2011年まで）、2011年から現在に至るまで、私たちが求めてきたワーカーズ法と労働者協同組合法案（仮称）の比較についてを学習し、法制化を求めてきた歴史がよく分かりました。

私たちが求めてきた法律は、①一人一票の権利を持つ協同組合 ②事業体としての位置づけと有限責任 ③法人税の優遇 ④非営利事業の明確化 ⑤労働法制の改革 ⑥準則主義です。

今後も私たちは、ワーカーズ・コレクティブ（協同労働）の社会化を目指し、理念を継承していく。そして、持続可能な地域作りを広げていく活動の継続と、ディーセントワークの職場作りを継続して取り組むことが必要と感じました。法制化を考えるを通して、「すなわち自分たちは何者か」という主義主張を貫きたいと思いました。

〈報告：大熊〉

※ WNJ:ワーカーズ・コレクティブ ネットワークジャパン。ワーカーズ・コレクティブを増やしながら、その法制化を実現して社会に広める活動を行っている全国組織です。

お知らせ 「小さな起業で楽しく生きる」 「ワーカーズ・コレクティブ in チ・カ・ホ」

日時 3月7日（木）11:00～19:00

会場 札幌駅前通 地下歩行空間 憩いの空間
（札幌市中央区北2西4 チ・カ・ホ出入口5）

●事業紹介パネル展示コーナー

社会に必要とされていることを事業化するワーカーズ・コレクティブをパネルで分かりやすく展示。

●ワーカーズで働きたい人 起業したい人の相談コーナー

ワーカーズ・コレクティブまたはコミュニティビジネスなど、すぐに働きたい方、地域のための起業を考えている方に向けた相談コーナー。

無料プレゼント/
プチ起業の
コツを伝授!



「よくばり女子の
しごと本」

主催：北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会



たすけあいワーカーズが開催している教室は?

①介護教室 ②英語教室 ③料理教室

正解者の中から抽選で2名様に、『たすけあい
シンプル・エクササイズ』DVDをプレゼント!

応募方法

FAX または メールで、名前・住所・電話番号・クイズの答え・ワーカーズの方は所属名を、下記の北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会まで送ってください。締め切りは、1月末日。

起業講座を行いました ～地域ニーズが事業につながるきっかけとなることを目指して～

「見つけよう！ 地域でできること」 (9/21)

ワーカーズとは「仲間と共有理念を持ち、合意の下つくる働き方」であることをDVD上映で説明し、子育て支援ワーカーズとおむすびカフェの事例紹介でニーズに合わせた活動を伝えました。ワークショップでは、「どんなサービスがあったらいいか？自分ができることは？実現するのに必要なものは？」を出し合い、アイデアが拡がり夢が膨らみました。



「まずはワーカーズに ふれてみよう」 (10/11)

今回は子育て支援事業をテーマに、生活クラブが開催する親子ひろばの様子、訪問保育の実践例などを報告しました。東区には子育て支援ワーカーズがないため、地域の親子支援は北区のワーカーズがカバーしている実態がみえました。「地域をよく知るスタッフが地域の親子支援ができれば良い」、「ワーカーズの設立を待っている」という意見も参加者からあがりました。今後も継続して講座を企画していきます。

「こんなワーカーズ あったらいいな！」 (11/1)

3つのワーカーズの実践報告を聞いた後に、北区にあったらよいサービスについてワークショップを行いました。たすけあいワーカーズ、食のワーカーズはもちろんのこと、法律や福祉の専門的な相談窓口、また気軽に何でも尋ねることができるよう相談と居場所などがあがりました。高齢者の健康や体力の低下を防ぐ企画にも関心が高く、盛り上がりました。



Wish

【ウィッシュ】

私たちは「ワーカーズ・コレクティブ」で起業しています

ワーカーズ・コレクティブとは、生活者の視点から地域に必要な「もの」や「サービス」を市民事業として事業化し、全員が出資・経営・労働する働き方です。

特集 ちょっと困ったとき

たすけあえる人を地域に広げるために

No. 52

2019.1【年4回発行】

Interview

たすけあいワーカーズ そよ風 大谷 里子さん

高齢になっても、障がいを持っても、住み慣れた我が家で生活を送り続けたい。「そよ風」では、そんな思いを大切にして福祉サービス事業を行っています。代表をつとめる大谷里子さんに日々の活動の様子を聞きました。

地域に根づいた働き方を

生まれてからずっと札幌市東区で暮らしてきて、結婚後も専業主婦として生活クラブ生協やPTAで地域活動をしていました。そんなある日、「ヘルパー2級講座」が開催されることを知り、受けてみることに。親と同居しているので介護には以前から関心がありました。



「よってかない会」で、利用者さんとお買い物

講座の中では、講師が「女性は地域に根差して活動している」と話したことがとても印象に残りました。そして私も地域で働きたい、ヘルパーの資格も生かしたいと考えるようになったのです。そよ風に入ろうと思った時、夫が「ワーカーズならいいんじゃないか」と言ってくれたことにも背中を押されました。

人とつながる場を持ち続ける

介護サービスの事業所はたくさんありますが、ワーカーズならではの長は、「介護についての学び」「制度の理解」

介護の担い手が
もっと増えたらいいな



おたに さとこ 札幌市出身。3人の子どもが巣立った今は、夫と全国の城めぐりをするのが楽しみ

「定例会での情報の共有」を積極的に行っていることだと思います。利用者さんの背景をくみ取って丁寧な支援を行うためにも、積極的に研修を行い自信を持って働けるようにしています。この仕事の魅力の一つは、ワーカーや利用者さんとの関わりを通して「人」として得るものが大きいことです。思うように仕事が進まなかった時でも、自分を振り返るきっかけを貰っていると実感しています。

2003年から開催している「よってかない会」は、高齢者や障害を持つ人など、様々な利用者さんの交流の場として好評です。他にも定期的にサロンを開催し、地域に開かれた場所を提供しています。このような活動に事業性はありませんが、必要とされていることを、「やってみたい」と思う者同士が集まり実現していけるのもワーカーズの良いところ。この活動が、私たちの元気の源になっています。

今後、社会の高齢化がもっと進み、相互介護の時代が来るかもしれません。そのためにも、介護に携わる人がもっと増えてほしいですね。また、地域で暮らしたいと願っている人たちがつながっていけるような場所づくりをこれからも続けていきたいです。

【取材 / 岡田・大内】

■発行 / 特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 サラサビル4階 A号室

☎ 011-596-0650 FAX 011-596-0651

Email wco28@athena.ocn.ne.jp

http://hokkaido-workers.org

■発行責任 / 大熊 薫 編集責任 / 理事会 制作 / ブランズEPO

■年4回発行 年間購読料 / 1000円

北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会は
1986年に設立。32団体517名が加入しています。

業種	団体数
食	6
福祉	11
子育て支援	10
業務請負	3
リサイクルと環境雑貨の店	1
企画・編集	1

訪問介護・障がい福祉・地域支援

特定非営利活動法人 たすけあいワーカーズ そよ風

札幌市東区北15条東13丁目2-1 コーポ勇雪C号室

〈1995年4月設立 会員15名〉

TEL 011-753-6522